慶光復念大陸滅共匪整河山

農民戶稅計算方法

本　嚴孝　處征稽捐稅政府市北臺

戶稅是按照每戶所有資產，和各種收入的綜合估定的價值而課征的。資產的估價額大小最主要的，是決定稅額的二個因素。本省現行辦法，土地價格是按照土地原有等則規定的賦額與當地現時不動產評價的比較，而訂定的平均倍數，乘以某一塊土地的原賦額，就得某一塊土地的現值。計算時，一額平均地價額計算出每一元賦額的土地價值。

例一：農家甲，有房屋一棟，按照本地不動產評價為六、五〇〇元，夫妻自行耕種，賦額為三、四、五〇元，又有田一塊，賦額為三元四角，長子在某商店任職，尚有未滿十八歲子女三人，其半年薪二五〇元，應納戶稅及防衛捐為三元五角八元，其算式為：

資產總額：房屋6,500元＋(土地田賦34.50×規定自耕土地估值倍數900)＝37,500元
全年資產部份稅額：37,550×0.005＝187.80元
收入總額：農業收入按田賦額34.50×規定自耕土地收入倍數230＋長子薪給收入250元×12＝10,935元
應行課稅之收入額：10,935元－240×3未滿18歲子女三人之寬減額＝10,215元
全年收入部份稅額：10,215元×0.06稅率－250元累進級距差額＝362.90元
全年度應繳稅額：187.80元＋362.90元＝550.70元
半年度應繳稅額及防衛捐：550.70÷2×(1＋30%)＝358元

例二：再如某乙，父年六二歲，母年五五歲，妻幫同耕作，子女四人，長子應征入伍，長女已滿十八歲，自己有田1/4甲，賦額九・四六元，另又向某丙承租田1/3甲，賦額八・二五元，有耕牛一頭，農具自備，尚有種豬二頭，平屋一棟。

資產總額：土地1/4甲賦額8.25×規定自耕土地估值倍數900＋房屋4,800元＝12,225元
全年資產部份稅額：12,225元×0.005＝61元
收入總額：自有土地1/4甲賦額8.25×規定自耕田收入倍數230＋租用田賦額9.46元×規定承租田收入倍數144＋食猪二頭估定收入額400元×2＋種猪一頭估定收入額600元＝4,705.70元
應行課稅之收入額：4,705.70－240×3未滿18歲二人及已滿60歲一人之寬減額＝3,985.70元
收入部份稅額：3,985.70元×3%－25累進級距差額＝94.60元
全年應課稅額：61元＋94.60元＝155.60元
半年應課稅額：155.60元÷2＝77.80元

以上所舉的二個例子，有幾點應特別說明：第一、自用農具及耕牛，現行規定辦法不課稅，故未計算為資產之價值。第二、家中凡有子弟應征入伍者，政府為優待出征軍人家屬，免課防衛捐，所以第二例未將防衛捐列入。第三、戶稅收入部份的稅率是累進的，自一、二〇〇元至二、五〇〇元，為百分之二，自二、五〇一元至五、〇〇〇元為百分之三，自五、〇〇一元至七、五〇〇元為百分之四，自七、五〇一元至一〇、〇〇〇元，為百分之五……如第二例中全年應行課稅之收入額三、九八五・七〇元，其中二、五〇〇元應按二%計算，超過則按三%計算。

以上不過是幾個例子，詳細情形或不明瞭地方，請向當地主管征收機關詢問。

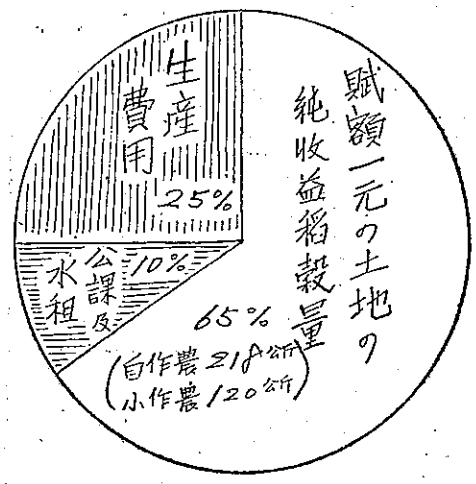
譯文

戶稅は各戸の資産と収入とを綜合したものに對して課せられますので、資産や收入の程度によつて稅額が決定されるわけです。本省に於いては

行はれている辦法は、土地の價格評價については、その土地の等則によつて定められた田賦額と當地の不動産評價を比較して、賦額一元についての平均倍數を定めた後、この平均倍數を土地の原有賦額にかけると、土地の價格評價がでます。收入額の計算法は、省糧食局の調査統計により、賦額一元の土地は一年平均の生産量が三二〇公斤と定められています。また、地政局の調査統計によりますと、水稻栽培の生産費用は正産量（間作などの副作物を含まない主作物）の百分の二十五、公課および水租の支出は百分の十、となつています。故にいま、さきに述べた省糧食局の調査統計（收入額）から地政局の調査統計（支出額）を差し引きますと、賦額一元の土地の純收益稻穀量は自作農は二一八公斤、私有地の小作農は一二〇公斤になります。畑地に對する收入課稅も以上の方法によつて、その産物の時價と光復前の米穀價とを比較して計算されます。

次に彰化縣の本年度課稅辦法を標準にしますと、賦額一元の土地の資産評價は、自作農は九〇〇倍、出租者は五〇〇倍、賦額一元の土地の純收益は自作は二三〇倍、小作は一四四倍、出租は八六倍です。左に自作農、小作農の納入すべき戶稅額を例をあげて說明してみませう。

例一：農家甲は、家屋が一棟あり、當地不動産評價では六五〇〇元です。また水田があり、賦額は三四・五〇元



五元、そのほかに丙某の土地を三分の一甲歩小作し、その賦額は九・四六元です。耕牛と農具の備へがあり、種豚一頭、食用豚二頭を飼つています。家屋は平屋一棟で、當地評價では四八〇〇元ですが、この人の半年度に納入すべき戶稅は七七・八〇元で、その計算法は次の如くです（方式は中文を見よ）。

なほ、本例には特に注意すべき左の二點があります。

①自家用農具と耕牛とは規定により課稅されませんので除外されています。

②子息で兵隊に應召されているものは「防衛捐」を免除されているので、これも計算されていません。

戶稅の收入部分の稅率は累進的で、一二〇元から二五〇〇元は百分の二、二五〇一元から五〇〇〇元は百分の三、五〇〇一元から七五〇〇元は百分の四、七五〇一元から一〇〇〇〇元は百分の五、の如く計算します。故に、農家乙に例をとりますと、この人の收入は三九八五・七〇元ですから、そのうちの二五〇〇元は百分の二、超過した部分に百分の三をかけて、合計したものが稅額になります。

以上は二三の例を述べたにすぎませんから、詳細なこと、或は不明な點は當地の稅務機關にお問ひ合はせください。

銘謝農復會對農友們的協助

苗栗縣通宵鎮內湖里一二〇號　呂石敬啓

貴會在辦法各處配置肥料種類很多，我們農家施肥時，常常誤用，近來幸承對於指導工作尤為熱心。在我第一期稻作施行第二回用硝酸鉀鈣追施之時，被本里指導員巡見，加以勸止並說道：照這樣稻看來，窒素分量已足，照農村復興會手冊指導法，應當施過燐酸石灰才對。我就隨時照法實施，結果甚好。目前凡施用追肥硝酸亞鈣者，稻葉過盛而結果不良。本人不但要敬謝敝里指導員的熱心指導，當然更要感謝貴會對農民協助的盛意，並請貴會以後多多廣為指教。是禱。

如果呂先生將領到的「過燐酸石灰」全部作基肥施用，當可收到更大的效果。（農復會肥料組）

縣賞徵求『簡易堆肥舍建築工程設計』揭曉啓事

一、查前登報徵求之「簡易堆肥舍建築工程設計」承各方踴躍參加，應徵數目共達一九九件，經本三機關愼重審查結果決定得獎者如下：

頭等獎一名：臺北市臺灣大學，董有談獨得新臺幣一千元。

貳等獎一名：臺中市豐榮水利委員會建設課，黃肇邦獨得六百元。

三等獎三名：（原定二名，審查時經協議增設一名）

臺中縣石岡鄉梅子村第八鄰豐勢路八一號廖仁海頊交廖玉春。

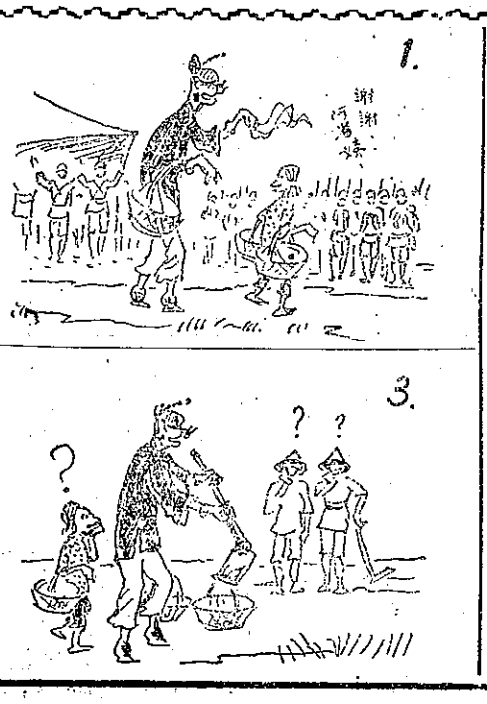
臺中縣大甲鎮順天里順天路三四號洪得。

臺中市省立農學院王正身。以上各得三百元。

一、本次應徵設計案，雖未臻理想，然對今後堆肥舍之推廣貢獻頗大，蓋可集各案之優點於一圖也，對于應徵人之熱誠，併此致謝。

臺灣省政府糧食局
臺灣省政府農林廳啓
中國農村復興聯合委員會

漫畫・阿省嫂（勞軍回來）　阿屘哥作



本刊訂閱辦法

一、本刊每月出版二期（一、十五日）。

一、全年（廿四期）收費九元，半年（十二期）收費五元。

一、集團訂閱每期五份以上者：每份全年（廿四期）祇收三元七角半，每份一期祇收三角七分半。

一、訂閱時請向附近鄉鎮農會接洽，或利用郵政劃撥儲金（振替貯金）辦法，於每月八、廿二日以前將報費直接滙到本社，以便按期（每月十五、一日）寄上。

豐年社　臺北市南京西路一段一號　郵政劃撥儲金臺灣第五九三〇號

印刷者　尚德印書館　臺北市長安西路八〇號